

プロの演奏家による「桐の響を楽しむ会」

5月14日、松波総合病院・南館ロビーにて「桐の響を楽しむ会」を開催しました。この会は県のサラマンカホールを中心に岐阜で活躍する演奏家の集まりで、皆名門桐朋学園の出身。音楽による社会貢献活動を続けておられます。

当日は、アヴェ・マリアなど6曲が演奏され、入院中の患者様・ご家族様・地域の方々などがロビーに響き渡る美しい音色で「心のふれ合い」を楽しみました。

演奏プログラム

- パッハ=グノー アヴェ・マリア(前奏曲)
- モーツアルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク
- モーツアルト カンツォネット
- モーツアルト オペラ「ドン・ジョバンニ」より アリア「恋いよ、私を不親切な女だと思わないで」
- モーツアルト Pf ソナタ K.311-1
- モーツアルト 飲め踊れよ K.527-12
- 日本の歌から



演奏者

Violin: 木野 雅之
Cello: 小川 剛一郎
Piano: 福田 直樹
Piano: 佐部利 弘
Soprano: 小川 茂子
Pf ソナタ K.311-1
飲め踊れよ K.527-12

協同組合NSK保険協会より車椅子10台の贈呈式

5月22日、松波総合病院、リハビリテーション室にて協同組合NSK保険協会より車椅子10台の贈呈式が行われました。贈呈式には、松波総合病院の松波英寿理事長と協同組合NSK保険協会の高間敏宏理事長が出席され高間理事長が「地域医療のさらなる発展の為に役立ててください」とあいさつをされました。



協同組合NSK保険協会について

県内外175の接骨院・整骨院などで組織し、労災保険申請の代理業務のほか柔道整復師の技術向上を図っている。



2015年5月23日付岐阜新聞(上)、中日新聞(下)掲載
※この記事・写真等は岐阜新聞社、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

講演会のお知らせ

第100回
すこやかネットワーク

【日時】 2015年7月16日(木) 19:30~
【場所】 松波総合病院 南館1F MGHホール
【テーマ】 「糖尿病患者の血圧管理」
【講師】 松波総合病院 病院長 山北 宜由
※軽食をご準備させていただきます。
※参加申し込み受付中。

交通・駐車場のご案内



■ 交通のご案内

新幹線 岐阜羽島駅	名鉄電車 竹鼻線15分	徒歩 10分
	タクシー20分	
名鉄 岐阜駅	名鉄電車 羽島行10分	徒歩 10分
	タクシー20分	
名鉄 名古屋駅	名鉄電車 急行25分	徒歩 15分
	タクシー5分	
名鉄 西笠松駅		
名鉄 笠松駅		

患者さまと病院をつなぐかけはし

まつなみ

[発行] 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

最先端の技術を用いて より質の高い医療の実現へ。

腹腔鏡手術の医療事故が相次ぐなか、病院の技術、設備、実績が厳しく問われています。
この機会に改めて、当院の取り組みや実績について紹介いたします。

腹腔鏡手術 | Laparoscopic surgery



腹腔鏡手術における「ダヴィンチ(手術支援ロボット)」の活躍

昨年たて続けに報道された千葉県がんセンターにおける腹腔鏡下臍臓手術での医療事故と群馬大学病院での腹腔鏡下肝臍切除術において、あたかも腹腔鏡手術が危険な手術であると認識されかけてしまいました。過去の事例を紐解くと2002年に起きた名古屋大学での腹腔鏡下大腸切除術、東京慈恵医科大学青砥病院での腹腔鏡下前立腺手術での医療事故は日本内視鏡学会が技術認定制度を立ち上げるきっかけとなった事故です。日本内視鏡外科学会の技術認定制度は世界に類を見ない個々の医師の腹腔鏡手術の技量、指導性を認めるための非常にハードルの高い制度です。

しかし、そのような制度を作っていても腹腔鏡手術の割合を増やせている理由は2011年から直腸癌に手術支援ロボット・ダヴィンチを使用するようになったことも大きな一因です。大腸癌診療ガイドラインでは横行結腸と直腸癌に対する腹腔鏡手術はその困難性からまだまだ推奨されるまでには至っていません。



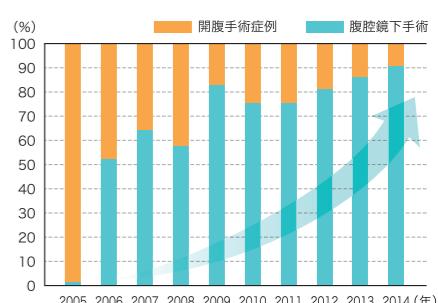
副院長
名古屋市立大学医学部臨床教授 小林 建司

【資格】

- 日本外科学会: 指導医・専門医
- 日本消化器外科学会: 指導医・専門医
- 日本大腸肛門病学会: 指導医・専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- ICD制度協議会認定ICD
- 日本がん治療認定医機構: がん治療認定医
- 日本化学治療法学会: 抗菌化学治療法指導医
- 日本ロボット外科学会: 評議員



■ 松波総合病院 開腹手術と腹腔鏡下手術の比率



緊急提言!
『安心・安全の医療を提供し続ける。』

安心・安全の医療を支える スペシャリストがいます。

内視鏡検査技師 | Endoscopy engineer

内視鏡検査でわずかな病変も見逃さない

当院では、内視鏡検査技師一種を取得している技師が5名います。正式には、「日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡技師」と言います。

資格には、一種と二種があり、一種は看護師、臨床検査技師、臨床工学技師などの国家資格が有り、専門医から推薦されるなど受験するには必要です。

一日に内視鏡室では、20~30人の上部・下部・特殊検査を内視鏡検査を行っており、医師の介助や機器の洗浄・検体の管理を行っています。

また、介助業務では患者様に検査中に事後が起きないように患者様の状態を見ながら対応しています。術中に看護師が鎮静剤を投与した時には、患者の状態の変化など確認する為に検査後、休憩をして頂いてます。



資格取得おめでとうございます。介護支援専門員(ケアマネージャー)

より良いサービスを追求するために

ケアマネジャーの資格を取得して、ご利用者の方・家族の方により良い、サービスの提供と提案をしたいと思い習得しました。看護師の資格もあり、病気で今後どのような症状が考えられるのかなど先の状況を考え、ご利用者の方・家族の方と接して行きたいたいと思います。



臨床工学技士 | Clinical engineer

急速に進化する臨床工学／病院中の診療を動かす。

1987年に「臨床工学技士法」が制定され、医療に不可欠な医療機器のスペシャリストとして、増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。

しかし、臨床工学技士(CE)の知名度は、まだまだ低く「縁の下の力持ち的存在」が続いている。どのような現場を支えているか紹介することで知名度UPを目指します。

臨床工学技士 部長 足立 光生



■ 臨床工学技士の業務

呼吸治療業務

肺の機能が低下し、呼吸が十分にできなくなった患者さんには呼吸を代行する人工呼吸器という装置が装着されます。その際、臨床工学技士は人工呼吸器が稼働している現場に行き、安全に装置が使用されているか、装置に異常がないかを確認しています。また、呼吸ケアチームの一員として人工呼吸器設定等の助言を行っています。



人工心肺業務

心臓手術の際、心臓や肺の機能を代行する装置(人工心肺)を操作・管理します。



集中治療業務

集中治療室(ICU/HCU)では、心臓や頭などの手術後の患者さんや呼吸・循環・代謝などの機能が急に悪くなり、命に関わる患者さんを集中的に治療します。臨床工学技士は、人工呼吸器や持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置の操作や管理を行います。



血液浄化業務

体内に貯まった老廃物等の排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合に行う療法です。現在日本に30万人以上の患者がいる血液透析療法が中心で穿刺や人工透析装置の操作・管理を行います。



心血管カテーテル業務

心臓病の診断及び治療をします。臨床工学技士は、一連の検査記録をするコンピュータの操作や治療の介助を行います。



ペースメーカー/ICD業務

不整脈に苦しむ患者さんに対して、ペースメーカー(PM)、植込み型除細動器(ICD)といった機器を体内に植込む手術を行います。臨床工学技士はそのような機器の操作・設定・管理を行います。



医療機器管理業務

院内で使用される医療機器が安全に使用でき機器の性能維持のための点検・保守管理を行います。



まつなみコラム | 感染症

韓国のMERSなど危険な感染症への警戒を

韓国において中東呼吸器症候群(MERS)が猛威を振るっております。中東・韓国から帰国後2週間以内に発熱・咳・呼吸困難など出現した場合は最寄りの保健所に連絡をお願いします。



これから迎える夏の時期にも感染症に注意が必要です。食中毒などの感染性胃腸炎や小児によく見られるりんご病(伝染性紅斑)などは岐阜県内でも多く報告されております。

また、風邪症状に似た感染症も多く発生しております。

夏だからと油断しないように、咳症状のある方は人混みに行くことは必要最小限にして頂き、やむを得ない場合はマスク着用をお願いします。また、帰宅後は手洗いなどの基本的な感染予防を日頃から心がけるようにしてください。



感染管理認定看護師
文字 雅義

上司より一言

病院と連携した看護を提供

当院の強みは、病院と協力体制にある事になります。当院を退院された患者様の事では主治医に何かあればすぐに連絡をして確認をする事ができ、今後も利用者の方にメリットを感じて頂ける訪問介護を提供してください。

まつなみ訪問看護ステーション 施設長
早藤 麻衣



まつなみ訪問看護ステーション 渡辺 麻里恵

医療と介護連携を積極的に考える松波総合病院

医療と介護の連携や防災について話し合う

6月12日松波総合病院・南館MGHホールにて、第1回 介護保険サービス事業所等ネットワーク会議が開催されました。会議にはケアマネジャーを中心に地域の医療、介護を担う専門職が参加「医療と介護の連携について」をテーマに会議を行いました。

将来、笠松町・岐南町も高齢者・独居の方が増えていく中で、どのような連携を行っていくかをグループワーク方式で話し合い、連携を密に取っていく具体策や、防災面での協力体制などでアイデアを出し合いました。

今後も、密な連携を取って行きたいと思います。